

歯科材料 1 歯科用金属
管理医療機器 歯科鑄造用金合金 70767000

ラピス タイプⅢ

【禁忌・禁止】

本品又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1.形状：板状

* 2.組成

成 分	分 量
金	75.00%
白金	2.95%
銀	9.00%
銅	12.00%
イリジウム	0.05%
その他	1.00%

本品の質量についてはパッケージの記載をご参照ください。

3.原理：加熱溶解して鑄造する。鑄造物は軟化熱処理、又は軟化熱処理後硬化熱処理により特性を示す。

物理的性質（該当規格：JIS T 6116：2012 タイプ3）

項目	仕様
耐力	317MPa ¹⁾
	585MPa ²⁾
伸び	40% ¹⁾
	18% ²⁾
密度	16.5g/cm ³
液相点	954℃
固相点	918℃

その他の性質

項目	仕様
硬さ	139HV ¹⁾
	199HV ²⁾
色調	金色
性質	硬質

1) 軟化熱処理を行った場合の値を示す。

2) 軟化熱処理後硬化熱処理を行った場合の値を示す。

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物又は装置の作成に用いること。

【使用方法等】

1.ワックスアップ、スプルーイング

通法にしたがいワックスアップします。ワックスの厚みは少なくとも0.3～0.4mm以上にしてください。ブリッジの場合、連結部は6～9mm²以上を保ってください。その後、通法にしたがいスプルーイングします。スプルーの太さは2.6～3.3mmが適切です。

2.埋没、加熱

クリストバライト系埋没材（P.D.R急速加熱クリストバライト埋没材等）を使用します。埋没材の使用法は埋没材メーカーの指示にしたがいます。指示なき場合は、加熱温度を700℃1時間係留に設定します。

3.合金の溶解、鑄造

ブローパイプでの溶解にはガス、エアーの混合炎を使用してください。真空加圧鑄造機、貴金属を溶解可能な高周波鑄造機も使用可能です。合金を溶解すると表面が薄い酸化膜で覆われ曇った状態になります。ここにフラックスをふりかけ、この曇りが消えた時が鑄造タイミングです。オーバーヒートしないよう十分注意してください。真空加圧鑄造機を使用される時は溶解温度を約1040℃に設定してください。

4.埋没材の除去

鑄造後、室温まで徐冷し、埋没材を除去します。鑄造体を変形させないように十分に注意してください。

5.熱処理

鑄造体を750℃の電気炉に入れ10分係留し、炉から取り出し水中急冷します。その後、必要に応じて硬化熱処理として、350℃の電気炉に入れ15分係留します。

6.酸処理

希塩酸や金合金の酸化膜除去液を使用して洗浄してください。溶液の取り扱いには十分注意してください。

7.研磨

通法にしたがいトリポリ、ルージュ等で丁寧に研磨してください。

8.推奨するろう材及びろう付方法

- ・ティアラボストソルダー
- ・トーチ（ブローパイプ）により加熱する方法
- ・電気炉内で加熱する方法

9.適用ルツボ

カーボンルツボ、セラミックルツボ

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ①本品の溶融ルツボは専用とし、他の合金との共用はしないこと。
- ②本品を直接鑄型上に置き、溶融及び鑄造は行わないこと。
- ③鑄造リングの冷却は自然冷却とすること。
- ④本品の鑄造体を再鑄造する場合は、付着している埋没材や酸化膜及びフラックス等を完全に除去し、新しい合金を等量以上加えて使用すること。
- ⑤本品の鑄造体の表面処理は、最良な焼付状態を得るため、正確に行うこと。
- ⑥他の合金との混合及び併用はしないこと。

【使用上の注意】

1.使用注意

- ①本品を使用する鑄造設備付近には局所排気装置、換気扇等を設けて密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
- ②本品の鑄造体の切削、研磨作業の際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所集塵装置、保護メガネ、公的機関が認定した防塵マスク等を使用し、粉塵との接触をさけること。
- ③本品の鑄造体の洗浄時には、洗浄液による眼及び皮膚の損傷を防ぐため保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用すること。
- ④本品の鑄造時には、溶融合金の飛散による人体への影響を避けるため、保護メガネ、手袋等の保護具を着用すること。
- ⑤歯科用フラックスを使用する際には、その添付文書に表示してある安全性に関する注意事項を守ること。

2.重要な基本的注意

- ①本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、速やかに医師の診断を受けさせること。
- ②本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、速やかに医師の診断を受けること。

3.その他の注意

患者に装着した修復物は、食習慣等にかかわり口腔内で表面着色したり、ブランク付着することがあるため、患者に対し適宜口腔内の日常清掃を指導すること。

*【保管方法及び有効期間等】

本品は、包装に記載されている使用期限※までに使用すること。

※(例  202404 は、使用期限2024年4月を示す)
[記載の使用期限は自己認証(当社データ)による。]

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売元：

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

フリーダイヤル：0120-330922

製造元：

The Argen Corporation

国名 米国

販売元：

株式会社 ピーディーアール

〒468-0015 愛知県名古屋市中白区原4-106